

福島第一事故の技術的知見について（30の対策）

～平成24年3月28日 原子力安全・保安院とりまとめ～

1. 概要

事故の発生及び進展に関し、現時点で分かる範囲の事実関係を基に、今後の規制に反映すべきと考えられる事項を以下のとおり30項目の対策として整理し、とりまとめたもの。

2. 30項目の対策の内容

外部電源対策	1 外部電源システムの信頼性向上	格納容器破損・水素爆発対策	18 格納容器の除熱機能の多様化	
	2 変電所設備の耐震性向上		19 格納容器上部機器の過温破損防止対策(BWRのみ)	
	3 開閉所設備の耐震性向上		20 低圧代替注水への確実な移行(BWRのみ)	
	4 外部電源設備の迅速な復旧		21 ベントの確実性・操作性の向上	
所内電気設備対策	5 所内電気設備の位置的な分散		22 ベントによる外部環境への影響の低減	
	6 浸水対策の強化		23 ベント配管の独立性確保	
	7 非常用交流電源の多重性と多様性の強化		24 水素爆発の防止(濃度管理及び適切な放出) (BWRのみ)	
	8 非常用直流電源の強化		管理・計装設備対策	
	9 個別専用電源の設置			25 事故時の指揮所の確保・整備
	10 外部からの給電の容易化			26 事故時の通信機能確保
	11 電気設備関係予備品の備蓄			27 事故時における計装設備の信頼性確保
冷却・注水設備対策	12 事故時の判断能力の向上	28 プラント状態の監視機能の強化		
	13 冷却設備の耐水性・位置的分散	29 事故時モニタリング機能の強化		
	14 事故後の最終的な除熱機能の強化	30 非常事態への対応体制の構築・訓練の実施		
	15 非常時に使用する弁の動作確実性の向上			
	16 代替注水機能の強化			
	17 使用済み燃料プールの冷却・給水機能の信頼性向上			

3. 検討経過

H23.10.24	専門家による意見聴取会の設置
H24.2.16	中間とりまとめを公表
H24.2.22～3.9	一般の方から意見・知見を募集
H24.3.28	福島第一事故の技術的知見をとりまとめ